

平成 25 年 4 月 8 日 (月)

HR

1. 平成 25 年 3 月 22 日 鶴田早亭様について (事故報告書参照)

- ・今回は、以前にセブンイレブンにいった既往歴もあり、SY が把握していた為すぐに行動に移れたこともあり、又日々の様子を保護者に説明していた事もよかったですと思います。

2. 今後同じ事がおきない為の対応

- ① 個々の既往歴・生育歴を最低自分の居担は把握する。(個人ファイル参照)
- ② 日々の行動おを記録に残す。
- ③ コミュニケーション (利用者様又その家族) 面会、外出、帰省等の奥り出し時には、本人の H での生活を細かく伝えておく。
- ④ 日勤リーダー 他職員は当日総人数、午前作業所に誰が参加、午後誰が参加するか確認。H に何人残っているか確認。
- ⑤ 人員チェック表はありますが、利用者様が場所を移動することに人員確認。
 - ・検温後→作業室 (ラジオ体操) →食堂・作業室に分かれて指先運動→お茶休憩→トイレ誘導→散歩の準備 (利用者玄関) →中庭 (整列) →南ゲート→散歩→散歩の途中で列をはみ出す利用者様もいる為その都度人員確認→散歩から戻って南ゲート→中庭→利用者玄関→各居室。居室から食堂来た時→手洗い後→昼食後→各居室→余暇時間→午後活動準備→午前の散歩時と同じ対応。
 - 入浴時→ジュースの時間→昼食時と同じ対応
 - 余暇時間ジ人員確認→午後活動開始 (午前の散歩時と同じ対応)
- ⑥ 同じ場所に職員が固まらない。日勤リーダーの指示又個々で状況を把握して自分が何をすべきかを決める。その時に自分勝手に実施するのではなく、必ず他職員に声かけをする。
- ⑦ 当日、天使の扉付近にいる利用者様には要注意。
- ⑧

●ヒヤリハット委員会で検討し、安全習慣を実施。

実施期間だけでなく継続して実施する事。

備考

[Redacted content]

V : グループ討論 (SY ・ IS ・ YM)

SY : グループ討論を行う。話し合いは15分で、発表5分間。テーマは『天使の扉の閉め忘れについて』。どうしたら良いかを、話し合ってもらいたい。

IS : ヒヤリハットや施設内で出た問題を、今後15分程時間を取り、会議で話し合いを行って行く。

1 グループ : KD ・ HK ・ GT ・ IM

2 グループ : IN ・ HS ・ SB ・ WT

3 グループ : KS ・ YN ・ NK

4 グループ : IS ・ YM ・ SY

5 グループ : 理事長 ・ HR 管理者 ・ HY ・ HT

1 グループ : 扉を閉める時、周囲に人がいないかを確認し、常に意識をして通る。後ろの確認が弱いので、ドアノブを離さない。

2 グループ : 無断外出の対策と一緒に、扉について朝礼で説明をする。扉を通る時やすれ違う時にはお互いに声掛けを行う。新人職員にはくどい位に説明をする。扉に入る時は良いが、出る時が弱いので、手で触って確認をする事が必要。

3 グループ : 安全週間で、確認できた人が42名、出来なかった人が1名。天使の扉を確実に閉める事を知らない人はいないはず。出来ない人は本人の意識の問題。内部コミュニケーションが必要。

また、目で見て分かるように危険性が高い場所、天使の扉は赤色、リネン庫前は黄色など物的に、目で分かる物があれば常に意識出来るのではないかと。

4 グループ : 意識付けの問題。出来ない人は少数。出来ていなくても、安全週間は出来る方に○を打っているのだから、本人は気付いていないと思われる。出来ている人も忘れる事があるので、声掛けが必要。朝礼で声掛けし、扉を閉めていない場面を見たら声掛けを行っていく。

5 グループ : 扉に鈴をつけたらどうか。業者が入る時に扉の開け閉めがルーズになっているので、業者が入る前に総務から説明を行う。視覚でも変わるように、注意する。

IS : 意見を貰ったので、来月は違うテーマで行う。自分のグループ内の話し合いで出て来なかった意見もあると思うので、それも頭に入れて行動してほしい。

理事長 : 結論は。

IS : 副管理者で話し合ってから発表します。

III：ショート面接(サービス担当者会議)(報告者 **YM**)

※別紙参照

IV：施設内研修 グループ討論(**YM**)

YM：先月の自動ドアの件は理事長が決定するので、また話があると思います。今月の内容は扉の件が1件出ました。

議題：「扉の閉め忘れ。扉が開いていた時の危険予知、どの扉がどんな危険性があるか、どういう時に鍵を掛け忘れてしまうか。」

① **KD**・**GT**・**HY**・**Km**・**YK**

作業所から帰って来た時に、天使の扉を利用者が開けてしまった時に出ていく可能性がある。ショート利用者が帰る時間帯に利用者が天使の扉にいたとき。男性の意見として M棟内の非常口で布団を干しているとき。考え事をしている時に鍵の閉め忘れ。

② **IM**・**IN**・**SB**・**IK**・**WT**

男性夜勤者が布団を持ちながら非常口から出入りするとき。F棟に歯磨き誘導をする時に、遅れて利用者が来る時に鍵が開いている時がある。事務所の総務出入り口からショート利用者が入ってしまう。

③ **HR**・**HT**・**KM**

リネン庫前の外部出入口を閉めたつもりが開いていた。鍵を閉めた後に鍵の確認をする。食堂からトイレに行く扉を通ってはけないと思っており、天使の扉からジュースを持って来る業者に入ってもらったが、台車がショート利用者にぶつかってしまう可能性がある。

④ **IS**・**YM**・**SY**・**NK**・**YN**

自動ドアの鍵をつけた事によって行事等の引率の時に自動ドアまで利用者を誘導してしまい、職員が中にいた。利用者玄関。F北外部出入り口の施錠のランプが消えていたのに開いていたことがあった。(職員が意識していくしかない。) 故障?

IS：次に作業所からの行き帰り、ショート利用者が帰る時間帯、総務出入り口、自動ドアが多かったので、「天使の扉から自動ドアに対しての対策」を話し合ってください。

①作業所、行事等の時に職員が持って行く物が不十分だと慌ててしまうので、利用者の準備が出来てから誘導する。作業所から帰って来た時に利用者同士、手を繋いで降りる。大変な時は声掛けをして手伝ってもらう。作業所職員は2人いるので、利用者の先頭に

立ち、誘導する。

- ②作業所から帰ってくると利用者①さん、利用者②さんが一人で入ってしまう。利用者①さんは声掛けをしても一人で入ってしまうので、常に職員と一緒にいるようにする。ショート受け入れの時、利用者③さんとか一人で入ってしまう方がいるので2人体制で受け入れを行う。1人が検温・誘導、もう一人が保護者の対応をする。(無外のある利用者がある時に限る)
- ③作業所に出掛ける準備ができたなら天使の扉を開けて誘導する。2人体制で一人が利用者誘導し、もう一人が扉の所に立っている。天使の扉から利用者が入る前に職員が先頭に立って誘導する。
- ④作業所から帰った時に、利用者②さん、利用者①さんは職員と一緒に入る。ショート利用者がいる時は開け閉めを注意する。総務出入り口の鍵を閉めておく事も出来るが自動ドアの鍵を持っていない時に困ってしまう。職員が自動ドアの鍵を持つ事を意識していかないといけない。自動ドアが鍵で開く事に安心してしまっている、大変な時は中の職員に応援を呼ぶ事も必要。

IS : 話し合いを行い、結果を報告します。

